

平成30年度 第3回 常磐公園の緑を考える集い

～市民協働による公園管理～



平成31年2月12日撮影
解体が始まった
冬まつり会場

1

はじめに

1 スケジュール

平成28年度（3回開催）

平成29年度（3回開催）

平成30年度

第1回 ○常磐公園の管理作業の実践

第2～3回 ○市民協働による維持・管理の実践内容、決定

今回

平成31年度

本集いで決定した管理項目を実践していきます

実践ののち、課題や検討すべき案件が発生したときは再度「集い」での協議を開催します

2

2 本日のプログラム

- 14:00 開会 (5分)
- 14:05 オリエンテーション (5分)
- 14:10 概要説明・協議事項 現在 (60分)
 - 「集い」の変遷・総括
 - 市民協働による維持管理
- 15:20 意見発表 (15分)
- 15:25 今後の予定 (5分)
- 15:30 閉会

3

3 前回の概要

1 説明・協議事項

- 樹名板の作成について
- 樹木更新（自然更新ゾーン）について
- フリートーク

2 意見交換

- 樹名板の作成は試験的なところから、樹種を限定（ドロノキなど）すると良いと思う
- 樹齢の推定は切株と成長錐の両方を実施して切株の推定精度を確認してみたい
- 市民協働でできることを模索していきたい。
- 自然更新ゾーンにある実生を常磐公園内の適正な位置に移植して樹木更新を図ることはいいことだと思う

4

「常磐公園の緑を考える集い」総括

「常磐公園の緑を考える集い」は、平成27年度策定「常磐公園植栽計画」にも位置付けされている市民協働による維持管理を実践するため、維持管理の項目や手法を検討することを目的として平成28年度にスタートしました。

活動の記録

第1回 平成28年8月27日

- ・常磐公園改修事業の変遷と緑や管理の現状
- ・現地視察（緩傾斜化部・ブッシュゾーン他）

第2回 平成28年10月27日

- ・自然環境調査結果報告
- ・ブッシュゾーン設置箇所検討

第3回 平成29年3月24日

- ・自然環境調査結果報告
- ・ブッシュゾーンの周辺環境に配慮して設置箇所について検討

5

第4回 平成29年6月24日

- ・自然環境調査結果報告
- ・現地視察（自然更新ゾーン・ブッシュゾーンの現状確認）
- ・外来種（オオハンゴンソウ）の駆除

第5回 平成29年11月25日

- ・自然環境調査結果報告
- ・自然更新ゾーン・ブッシュゾーンの今後の管理方針
- ・維持管理項目・内容の検討（樹木更新計画や外来種対策ほか）

第6回 平成30年3月23日

- ・自然環境調査結果報告（総括）、調査結果の利活用紹介
- ・自然更新ゾーン・ブッシュゾーンの今後の管理方針
- ・維持管理項目・内容の検討（樹木更新・外来種対策）

第7回 平成30年6月28日

- ・オオハンゴンソウの駆除（未実施）
- ・ブッシュゾーンの管理（ヨモギ移植）
- ・維持管理項目・内容の検討（樹名板の作成）

第8回 平成30年10月26日

- ・自然更新ゾーン・ブッシュゾーンの今後の管理方針
- ・維持管理項目・内容の検討（樹名板の作成）

6

これまでに提案いただいた御意見等の協議結果（抜粋）

提案・御意見等	回答・協議結果
千鳥ヶ池や排水路の浄化	水質の簡易試験の結果，特に問題がなかったこと，池にすむ生物の移動などの課題や費用の面から水底の洗浄等は計画していません。当面は通常の維持管理を管理者が行います。
常磐公園のPR活動について ・パンフレット ・子ども向け学習会	自然環境調査の結果をまとめパンフレットを作成してホームページにて掲載しています（集いにて紹介）。学習会は次段階で検討したいと思います。
樹木の観測（樹木更新の計画） 枯損木の調査	これまでの集いで樹木更新計画や枯損木の判定について協議したところではありますが，専門的知識が必要なところから，当面は見回りのうえ明らかな枯損の調査を行いたいと思います。特に安全面を考慮し園路等の上空を調査したいと思います。
自然更新ゾーンや緩傾斜化区域にPR看板の設置	目的周知の看板や注意喚起の看板は通常の維持管理の中で必要に応じ設置しております。PR看板につきましては景観上の問題から慎重に検討しております。

7

提案・御意見等	回答・協議結果
外来種対策（特定・指定以外）の駆除	例えば強いトゲを持つアメリカオニアザミなどは危険ですので見回りの際などに市民協働でできる範囲内で除去をしたいと思います。
公園の定期観測	定期観測の頻度にもよりますが，多くの時間を掛けることから，市民協働による管理においては次段階としたいと思います。
自然更新ゾーンの改良について	当初，種子の飛散防止のため敷設した砂利を撤去することとしていましたが，比較的安定して実生を確認することができたため現状を見守ります。ただし，一度も実生を確認していない区分がありますので改良の検討が必要ではないかと考えております。
ブッシュゾーンの改良について（水路の改修）	水路護岸を撤去し，ブッシュ環境の改良を図る案につきましては，水生植物の繁茂による流水の阻害や汚濁の課題があり，難しいと考えます。
ブッシュゾーンの改良について（面積の増）	ブッシュゾーン内は低管理となり，またその性質上，人の侵入を制限しなければならないことから面積の増は現段階では難しいと考えております。

8

市民協働による維持・管理項目

1-1 外来種駆除（植物）

特定外来種であるオオハンゴンソウ対策については、平成29年度に除草した対象箇所を確認しても生育が確認されなかった



平成30年10月9日撮影



植物の外来種駆除は一定の効果があるものとし

公園内の外来種駆除（植物）を実施します

9

1-2 外来種駆除（動物）

外来種であるアズマヒキガエル・ツチガエルが市の自然環境調査時に確認されています。

ただし、確認されたのはアズマヒキガエル1匹のみ

今年度春に神楽岡公園で駆除を行いました。池の外周を全てネット囲い池に向かうカエルを捕獲しています。常磐公園の池で実施するには規模が違うため市民協働による実施には限界があります。



平成30年5月18日撮影
(神楽岡公園)



市民協働でできることの検討
条件：大規模な仕掛けや準備をしない

公園内の外来種（生物）の生存状況を確認します

生存を確認し、捕獲が可能であれば捕獲しますが、難しい場合は管理者に報告、管理者として駆除を検討します。

10

2 ブッシュゾーンについて

今年度、カンタンの棲息を期待してオオヨモギを常磐公園内から移植しました。



ブッシュゾーンの現状
(2019.2.13)

カンタンの棲息の有無を「豊かな生態系」の一つの指標としブッシュゾーンの観測を続けます。

ブッシュゾーンの観測を実施します

観測時期：8月下旬

観測方法：目視・写真

記録：天気・気温・カンタンの有無・確認数
その他

11

3 樹名板の作成について

旭川市では樹木や自然に愛着を持っていただけるよう、樹名板の作成を検討しています。常磐公園においては、その樹名板に樹齢を記載したいと考えています。

前回の「集い」にて活動内容の一つに樹齢の推定作業をすることとしました。

樹齢の推定作業を実施します

対象樹木と同樹種の切株から年輪（樹齢）と幹周の関係を割り出し、対象樹木の幹周から樹齢を推定します。

前回の「集い」より

- ・精度の確認のため成長錐を併用する
- ・公園内に多数あるドロノキからはじめてみては

12

4 樹木更新（自然更新ゾーンについて）

自然更新ゾーンにおいては安定して実生が自生することを確認している。

前回の「集い」にて自然更新ゾーンに自生した実生を公園内の適切な位置に移植し樹木更新を図るとした。



自然更新ゾーンの実生

実生の移植位置の検討・移植作業を実施します

その後の管理や移植方法・添え木等の準備があることから、公園の管理を担っている公園緑地協会と協力して場所の検討や移植を行います。

13

5 まとめ

- ・参加者の御意見や提案など
- ・市民協働でできること

活動内容

- ・公園内の外来種駆除（植物）
- ・公園内の外来種（動物）の生存状況を確認
- ・ブッシュゾーンの観測
- ・樹齢の推定作業
- ・実生の移植位置の検討・移植作業

- ・来年度以降、上記を軸に市民協働による管理を実践する会合を開催する予定です。
- ・活動の際には公園全体の見廻りを行い、樹木や施設に異常があれば記録・対応を検討します。
- ・実践ののち、新たな課題や検討項目が発生した場合は再度机上での協議を開催します。

14

最後に

1) 来年度のスケジュール

維持管理を実践する会合を開催する予定でいます。

5月頃 外来種駆除（動物）

6月頃 外来種駆除（植物・動物）・樹齢推定

8月頃 ブッシュゾーンの観測・移植位置の検討

10月頃 自然更新ゾーンの観測（実生の移植）

2) 意見など